

**障害福祉分野における人材確保・定着状況に関する
障害福祉事業所所属職員へのアンケート結果**

令和3年1月

仙台市健康福祉局障害企画課

調査の概要

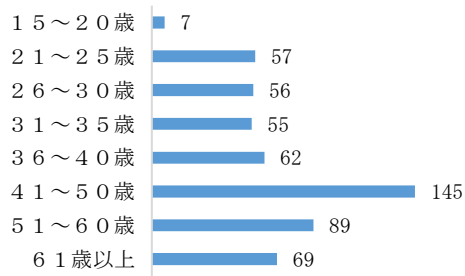
- 1 調査目的 本市障害福祉分野の人材確保・定着の現状や課題等を具体的に把握し、今後の事業の参考とする
- 2 調査期間 10月16日（金）～10月30日（金）
- 3 対象法人 仙台市内の全ての障害福祉サービス事業所運営法人（355法人）に勤務する一部の管理職を除く全ての職員
- 4 回答数 542人
- 5 留意事項
 - ・項目が長い場合、実際の設定問・回答の一部を省略して掲載している
 - ・各設定問中の（SA）は単数回答、（MA）は複数回答、（FA）は自由記述を表している

目次

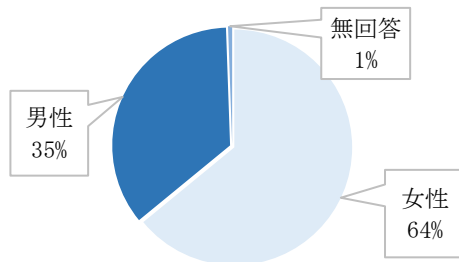
1. 回答者の属性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2. 回答者が所属する事業所（施設含む）の概要・・・・・・・・	6
3. 満足度、やりがい、勤続意向・・・・・・・・・・・・・・・・	7
4. 障害福祉に興味を持ったきっかけ・・・・・・・・・・・・	13
5. 就職（転職）活動の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・	14
6. 行政に期待していること・・・・・・・・・・・・・・・・	20

1. 回答者の属性

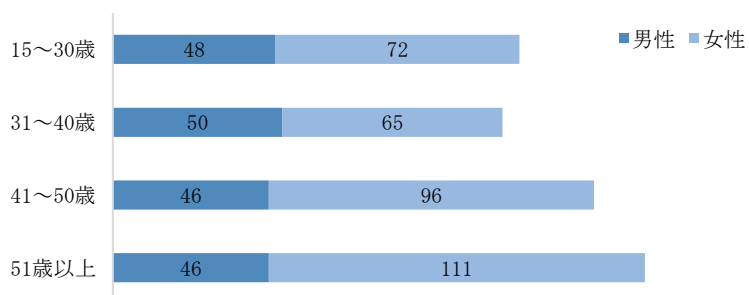
問1 年齢 (SA)



問2 性別 (SA)

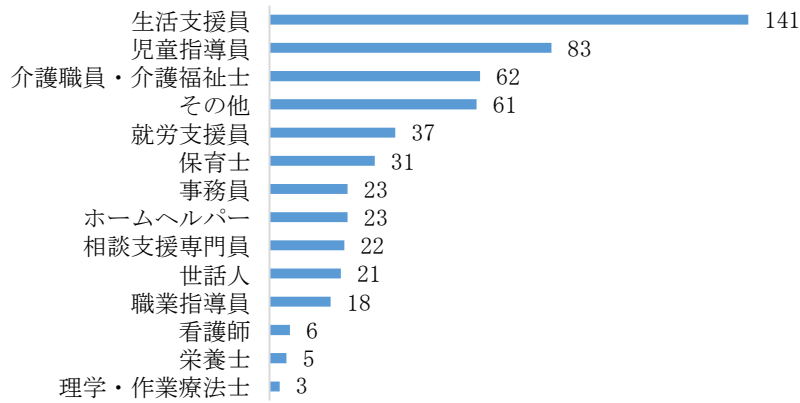


○年代別男女構成



- ・全ての年代で女性の割合が高い。
- ・特に、51歳以上の女性の割合が最も高く (70.7%)、31歳～40歳の女性の割合が最も低い (56.5%)

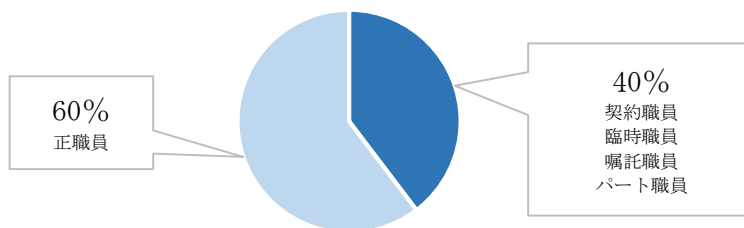
問3 職種（SA）



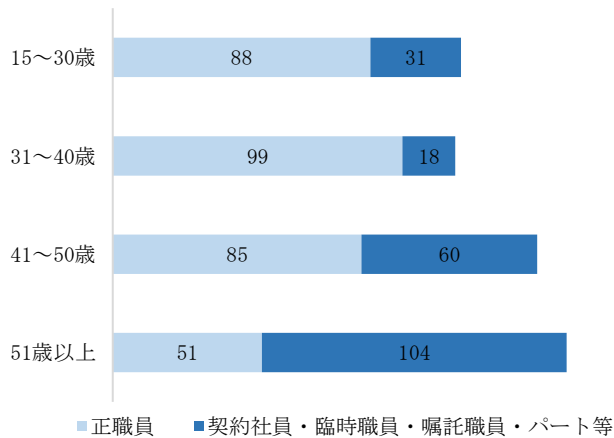
【その他】

- ・ サービス管理責任者、送迎運転士、調理師等

問4 雇用形態（SA）



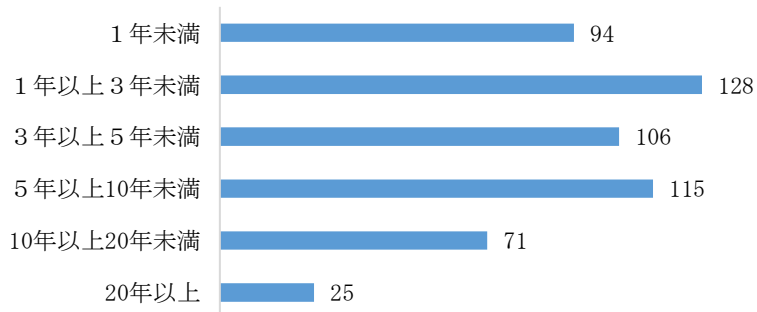
○年代別雇用形態



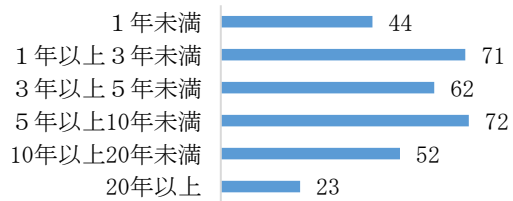
- ・ 年代が上がるほど正職員の割合が低くなる傾向がある。
- ・ 31～40歳が正職員の割合が最も高く（84.6%）、51歳以上の正職員の割合が最も低い（32.9%）

問5 現在所属する法人の在籍年数（SA）

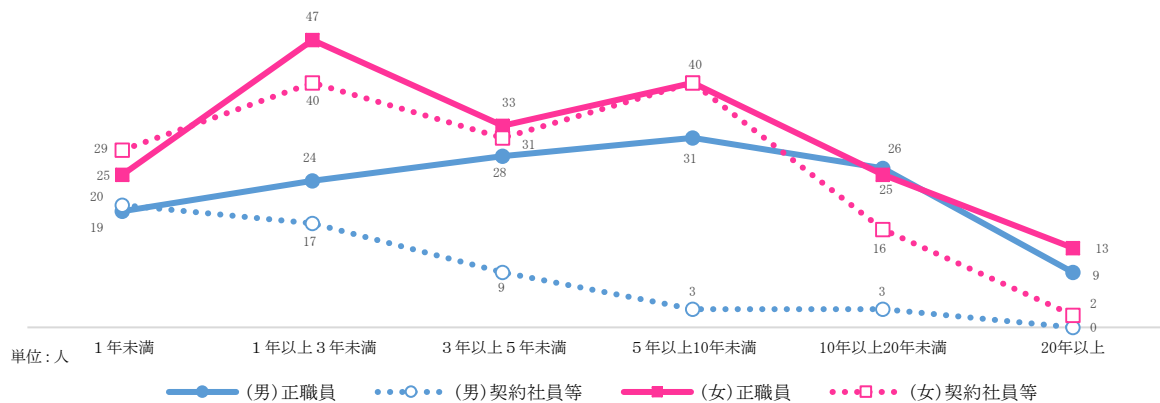
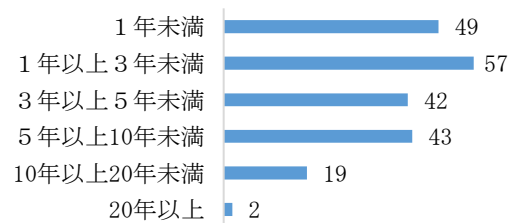
【全体】



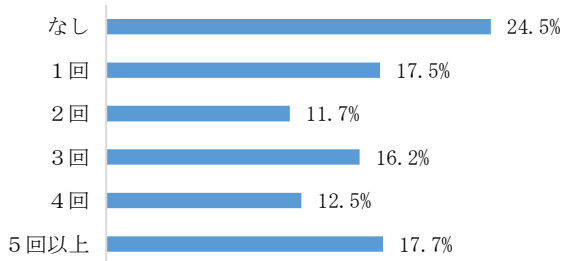
【正職員のみ】



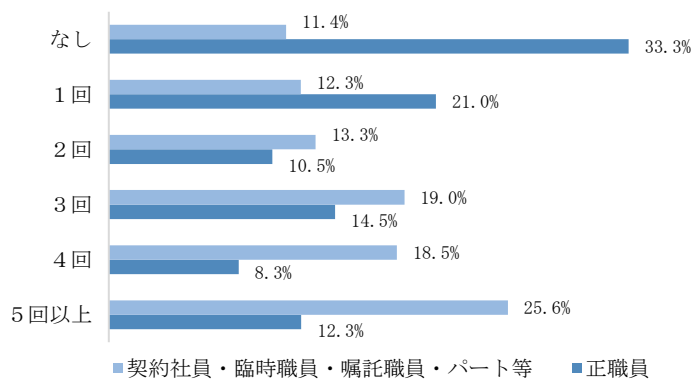
【契約社員・臨時職員等】



問6 転職経験（全ての業種）（SA）

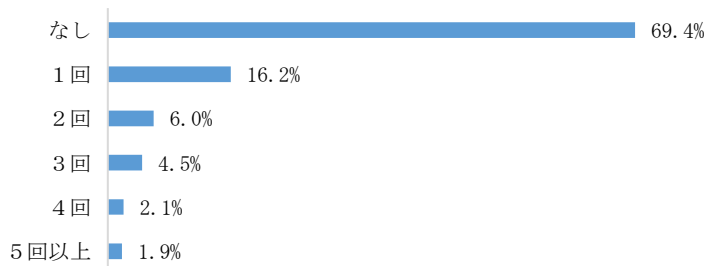


○雇用形態別転職経験の回答割合（全ての業種）

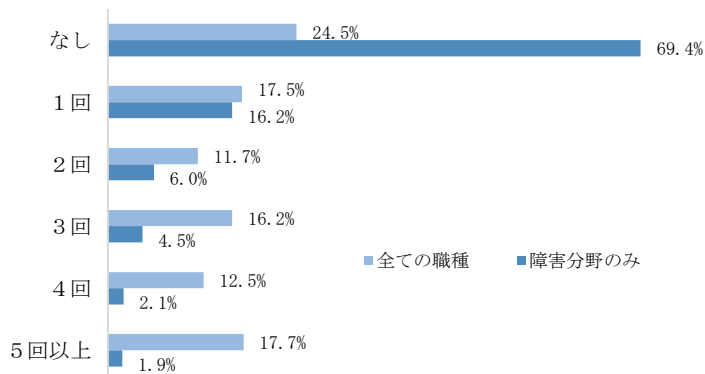


正職員は転職回数が少なく、契約社員等は転職回数が多い傾向がある。

問7 転職経験（障害分野のみ）（SA）

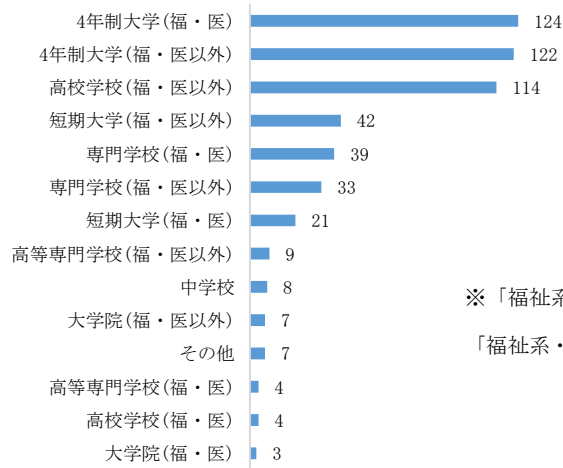


○問6と問7の回答割合の比較



- ・「なし」は大きな差がみられる。
- ・「1回」は、ほぼ同じ割合であることから、1回のみ転職した人は障害分野内での転職であると考えられる。
- ・2回から5回以上にかけて乖離が大きくなっていることから、転職回数の増加に伴い、他分野の経験率が高い傾向にある。

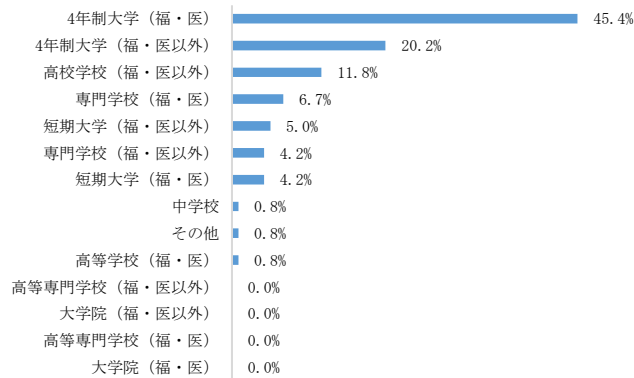
問8 最終学歴 (SA)



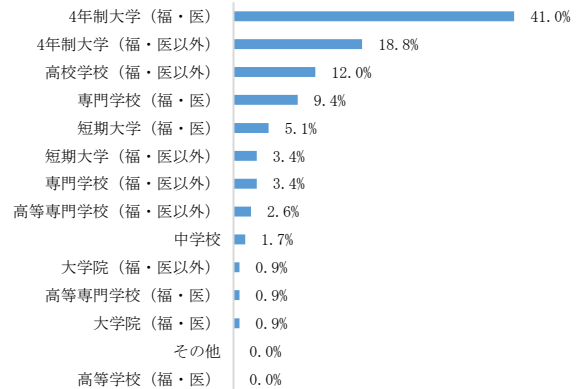
※「福祉系・医療系」を「福・医」、
「福祉系・医療系以外」を「福・医以外」と記載

【年代別最終学歴割合】 ※各年代別の合計が100%となるよう割合を算出。

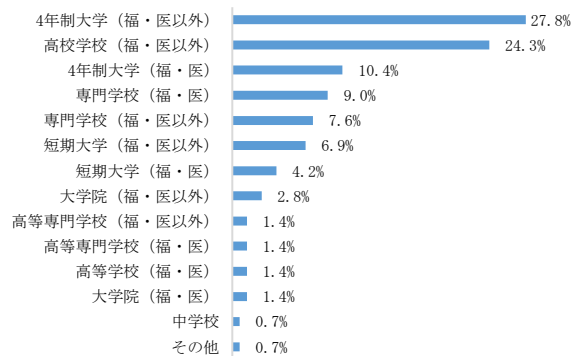
○15～30 歳



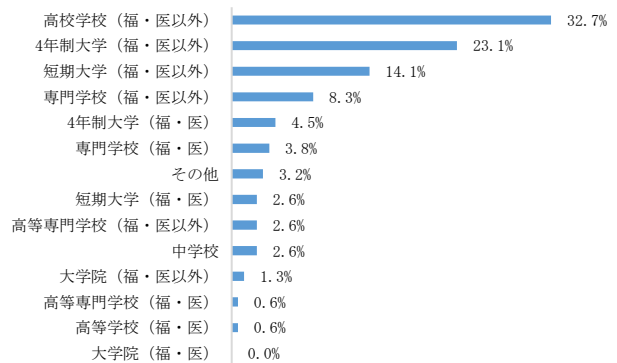
○31～40 歳



○41～50 歳

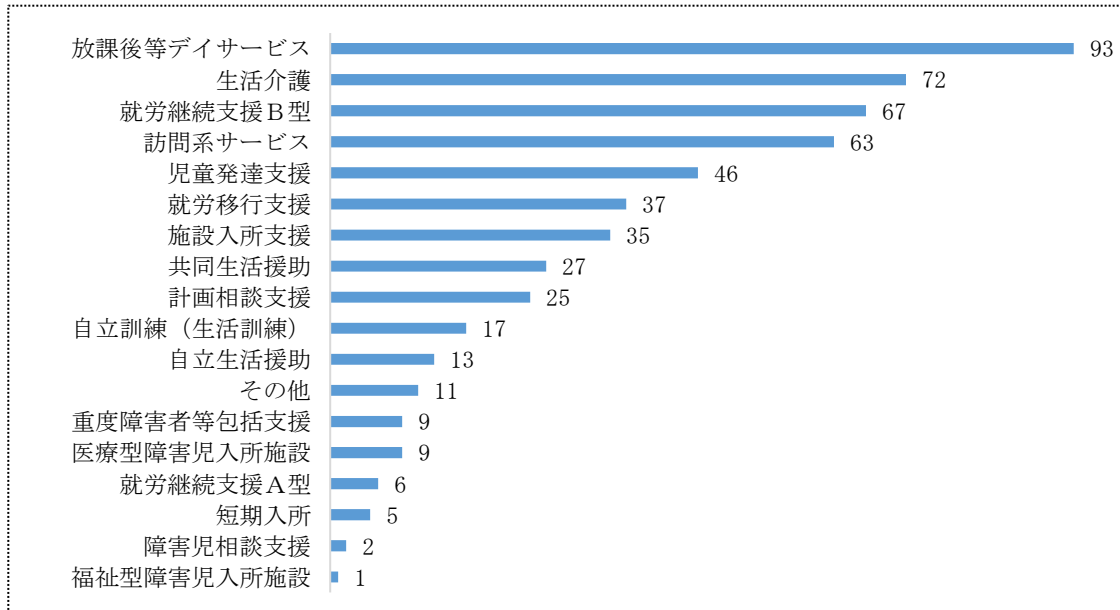


○51 歳以上

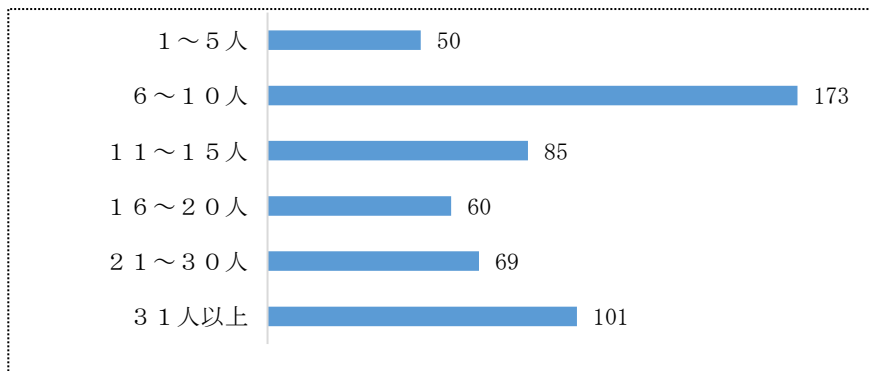


2. 回答者が所属する事業所（施設含む）の概要

問9 担当しているサービス名（SA）

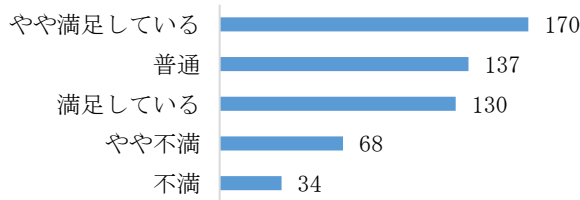


問10 在籍している事業所の職員数（SA）

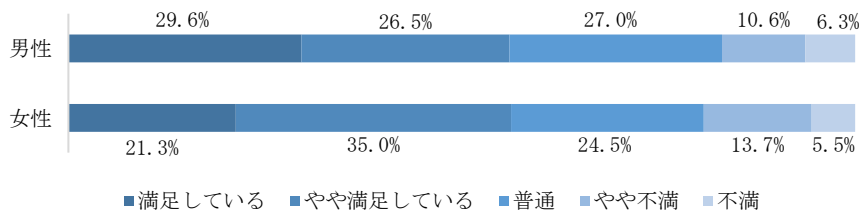


3. 満足度、やりがい、勤続意向

問11 満足度（SA）

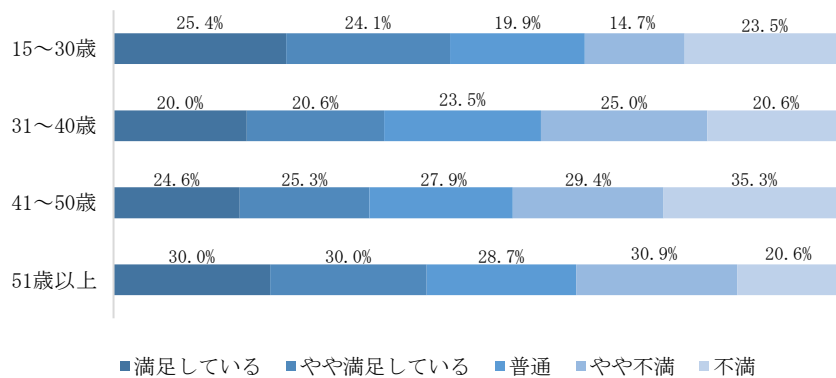


○男女別の満足度



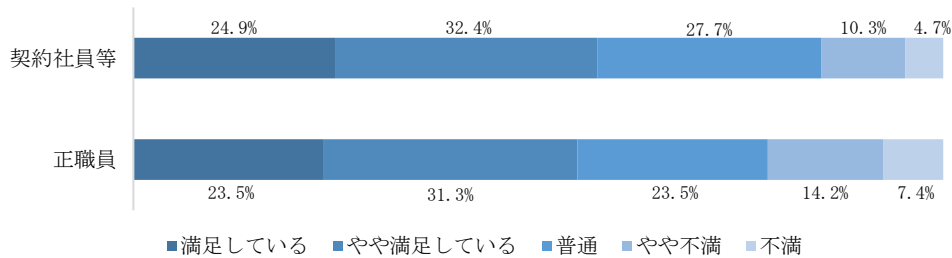
男女別で有意な差は見られない

○年代別の満足度



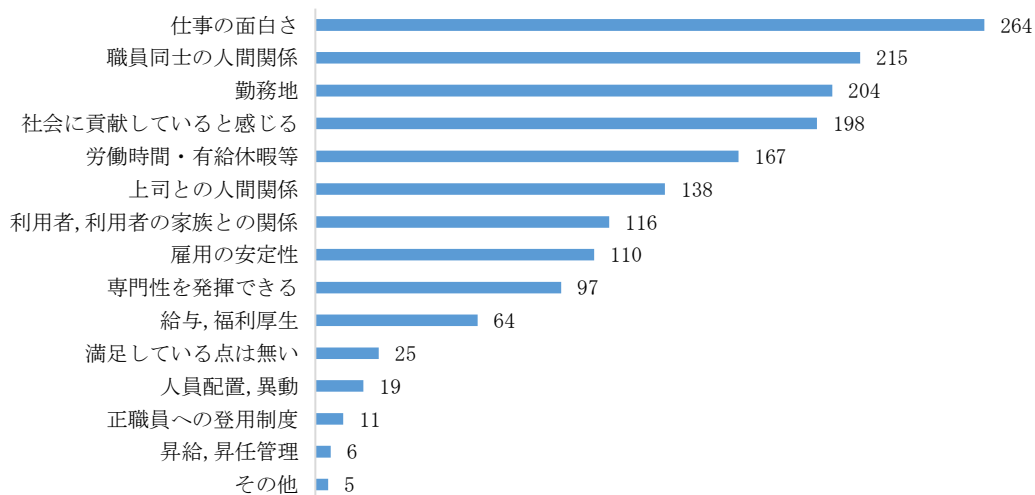
15～30歳が最も満足度が高く、41～50歳が最も満足度が低い

○雇用形態別の満足度



正職員の不満度がやや高いものの、雇用形態別に大きな差は見られない

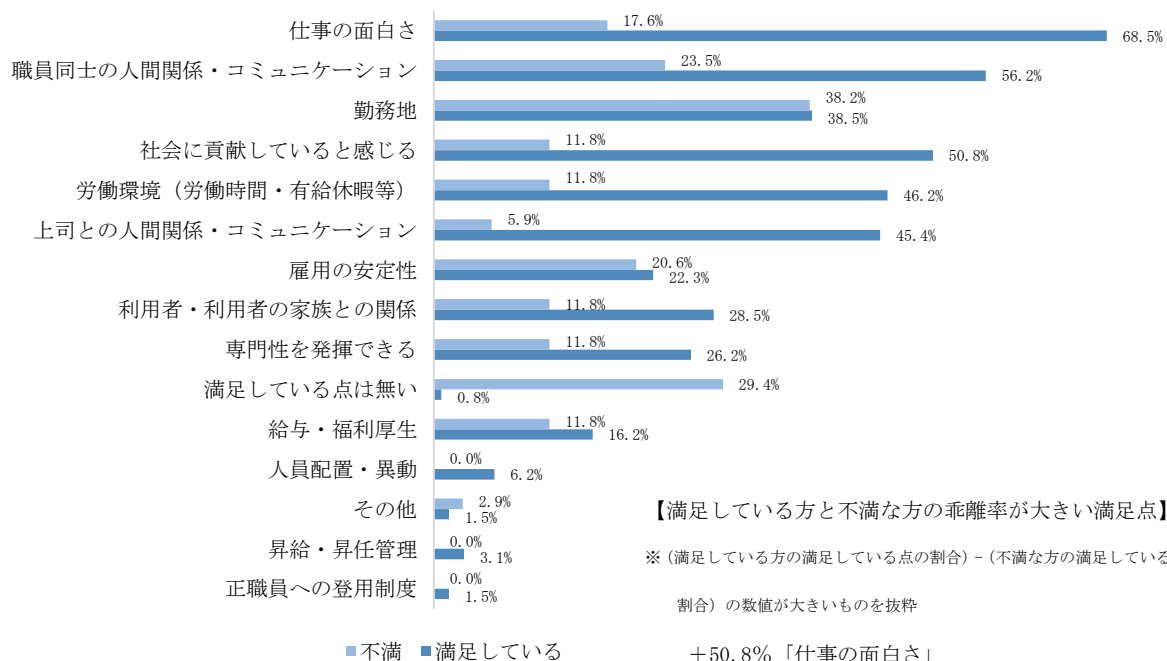
問12 満足している点 (MA)



【その他】

- ・ 子供に接することができる、休暇を取りやすい 等

●問11で「満足している」と「不満」と回答した方が満足していると回答した項目の割合

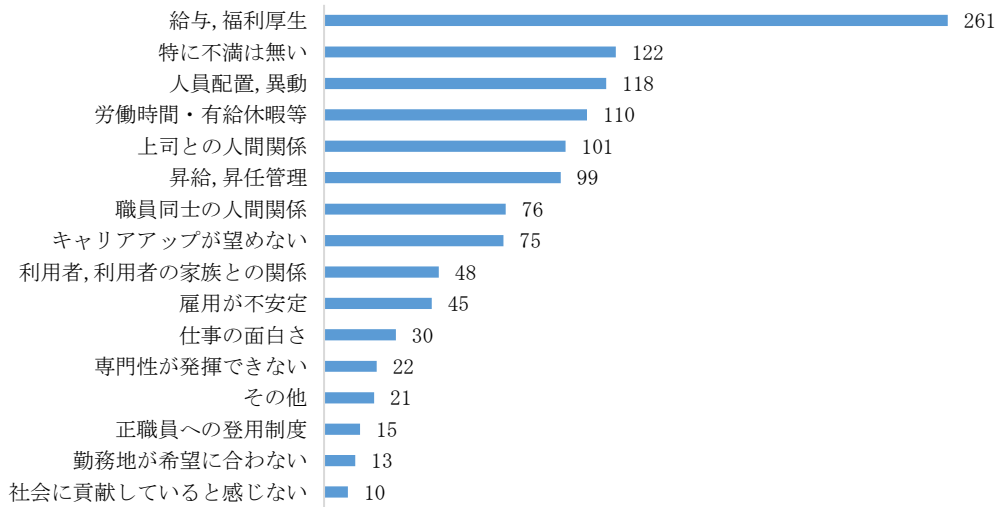


【満足している方と不満な方の乖離率が大きい満足点】

※ (満足している方の満足している点の割合) - (不満な方の満足している点の割合) の数値が大きいものを抜粋

- +50.8% 「仕事の面白さ」
- +39.5% 「上司との人間関係・コミュニケーション」
- +39.0% 「社会に貢献していると感じる」
- +34.4% 「労働環境 (労働時間・有給休暇等)」
- +32.6% 「職員同士の人間関係・コミュニケーション」

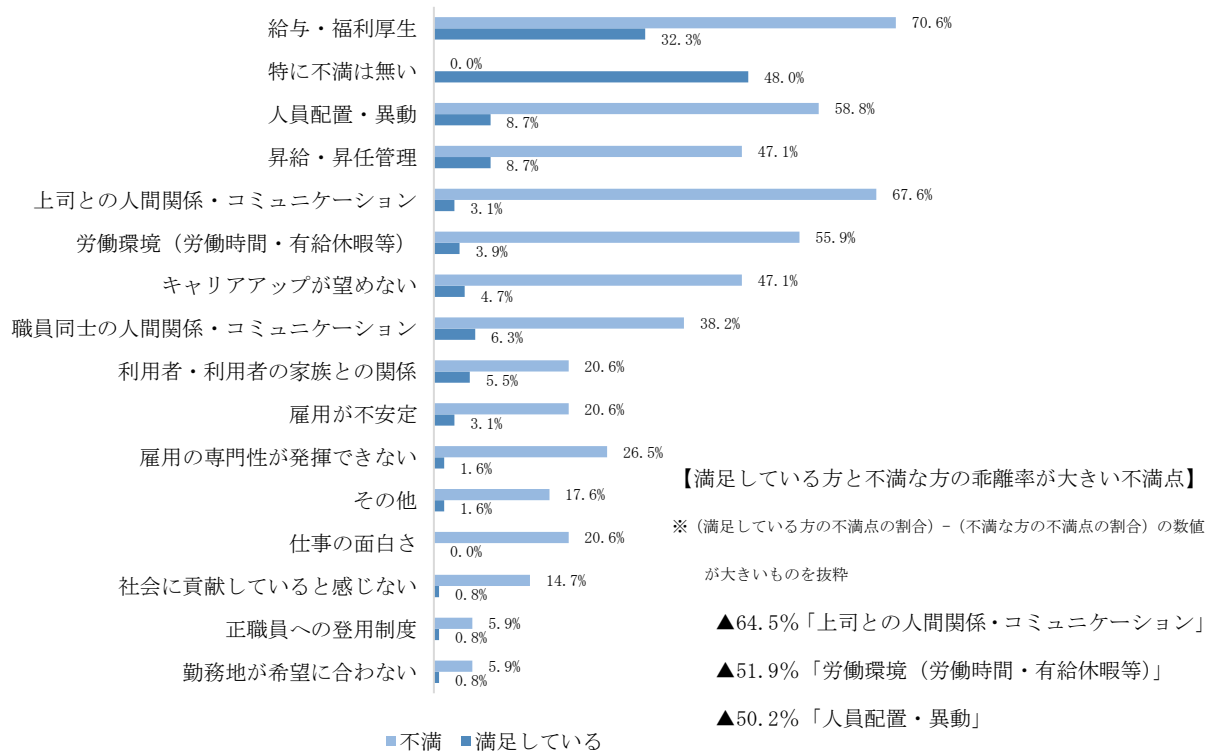
問13 不満点 (MA)



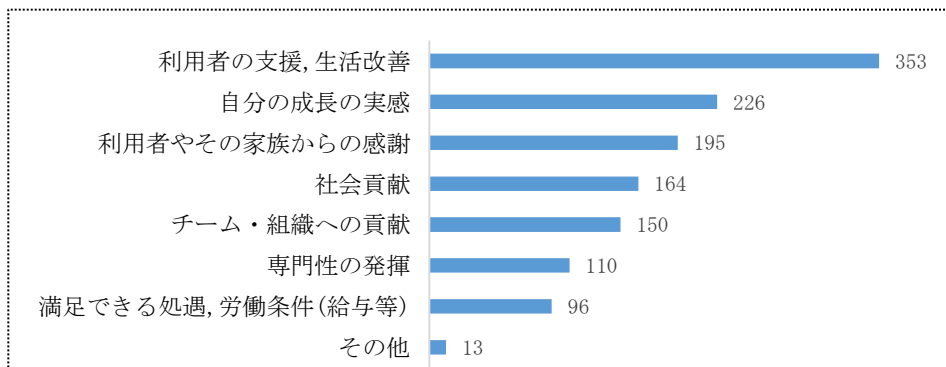
【その他】

- ・休憩時間を十分に確保できない、業務分担に不公平感がある

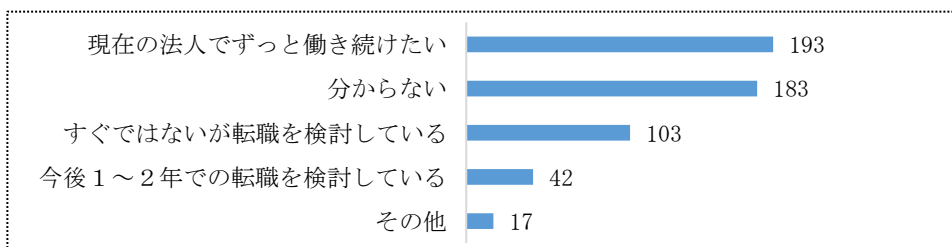
●問11で「満足している」と「不満」と回答した方が不満と回答した項目の割合



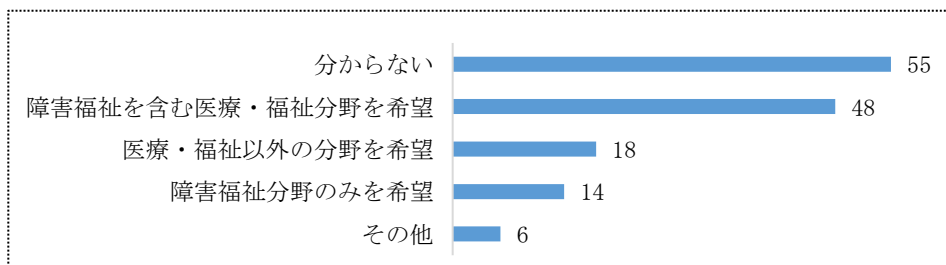
問14 やりがいを感じる時 (MA)



問15 勤続意向 (SA)



問16 (転職希望の場合) 希望業種 (SA)



問17 問16の回答理由 (FA) ※一部の誤字脱字は修正

○「障害福祉分野のみを希望」と回答した方

仕事内容の範囲が広すぎるから。やはり出来る分野と出来ない分野があるためストレスにしかならない
開業して日が浅く、入居者も定員の半数以下で経営が苦しいため、今後の収入に不安があるため
労働環境の改善が見込めなければ転職を考えています。
現在勤務している事業所にはいないが、支援をしたいと考えている障害分野があり、ゆくゆくはその分野に関わりたいと思っている
自分で福祉施設の運営をしたいから
3年後、資格を取得してからステップアップしたいと考えている
障害福祉の仕事にやりがいを感じているため、同業種での独立を検討している

働いていても、会社に対する信頼がないため、安心して働く環境がない
転居に伴い転職を考えているが、現在の仕事内容が自分に合っていると感じるから

○「障害福祉を含む医療・福祉分野を希望」と回答した方

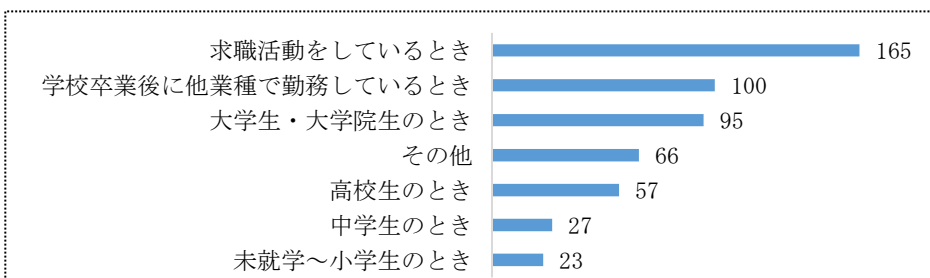
他職種に興味があるため
支援学校などの教員補助に携わりたいため
法人の中の放課後等デイサービスの事業所が少なく、異動があれば成人施設のみになってしまうため
専門性(心理学)のある分野で働いてみたい
たくさんの人と関わることができる福祉の仕事の楽しさを知っているので、その現場で働いていたい。また大学から福祉の世界に染まっているので、他の業種は考えにくい
福祉分野しか興味がない
勤務地が希望に合わないため転職を希望しているが、障害福祉の仕事にやりがいを感じているため、同業種での仕事を続けたい
現在の職場に不満があるが、障害福祉の仕事にやりがいを感じているため、同業種での仕事を続けたい
障害福祉の仕事にやりがいを感じているが、現在の運営方針に不満があるため
転職を希望しているが、障害福祉の仕事にやりがいを感じているため、同業種での仕事を続けたい
雇用契約が終了するため転職を希望している。精神保健福祉分野に興味があるのでその分野で仕事をしたい
障害者福祉の仕事にはやりがいを感じているが職員間、職員と利用者との関係性が良くて、虐待・パワハラが無いところに行きたい
ずっと病院や老健などの医療、福祉分野で働いてきたので
上司の機嫌や態度を伺いながら仕事することに疲れた、毎日言うことが変わるためついていけない、他スタッフへのあたりの強さ、もはやいじめ、パワハラではないかと思うことが多く、納得できないことがだんだん増えてきたため転職を考えているが、介護をやりたい気持ちはないが介護の仕事しかしたことがないため今後も介護をやるしかないのかなと思っている
給与が低い
無賃労働があるため
給与や昇格の面でやや不満がある。新しい職場で今までの職場経験が生かせると思えるため
給与面で今後のことを考えるとこのまま働き続けることが厳しい
前職が医療分野であり両方の経験を生かしたい。福祉分野は給与が低すぎる
自宅より近く、給与の上がる職場を希望している
現在の給与が前職の給与のほしい半分の額であるため、家賃や諸経費を差し引くと生活ができない。現在貯金や再就職手当を利用してやりくりしているが、それが尽きたら現在の仕事は継続できない。
社会福祉士の資格があるので知識を活かしたい。
今の仕事はとてもやりがいがあるが、もっと、医療と福祉の連携を強固にしていけるような仕事をしていきたい
福祉関係の資格や経験から、自分自身もスキルアップが目指したいため。現在の職場では、指導者できる上司や職員がいなく感じている
自分のスキルアップが望めるところで働いてみたい
障害者のアート活動について深く掘り下げ仕事をしたい
キャリアアップが望めない、上司がやる気を削ぐような対応をする等でやりがいを感じられないから

放課後等デイサービス以外の障害福祉分野等の現場も経験して、知識やスキルアップを望みたいとも思うときがあります
家庭を優先したい
仕事にやりがいを感じない。無駄な仕事が多く、そのためにサービス残業や休日出勤せざるを得ない環境である
夜勤がきついため、日勤で働ける場所が良い
管理業務を下にいるスタッフに業務分担したいため
独立したい
今の事業所は、正職員ではないので、将来的には正職員で採用して下さる事業所に転職を考えている

○「医療・福祉以外の分野を希望」と回答した方

他の分野でも働いてみたい
やってみたい仕事がある為
新たな経験を積んでみたいから
自分の持っている資格や経験を活かした仕事をしたい
障害福祉分野を経験して、その他の福祉領域の分野も経験していきたいと考えている。また、福祉に関わらず、様々な領域を経験して自分自身のキャリアアップをしたい
ライフステージを鑑みて、福祉関係の給与では不安があるため
生活出来る金額の給与ではあるが、子供の教育資金などに回せる程ではない。
特に男性は家族を養いながら福祉分野で働き続けるのには、給与面での課題がある。また、就労移行支援の枠にとらわれず、休職者の支援を行いたいという思いもある。そのため、現時点でも既に他業種（人事や企画等）へのキャリアアップを意識した働き方を目標にしている
給料が安い。頑張っても評価されている実感がない
家庭の事情により勤務時間に融通が利く職種が良いため
仕事をする事に疲れたので一旦休息の時間を作りたい。障害福祉の分野は自分には合わないと感じるので、自分にできそうな仕事を探したい
ご家族からのプレッシャーが大きく自分の体調や生活に支障をきたしている。

問 1 8 障害福祉に興味を持った時期（S A）



【その他】

- ・ 家族が障害者になったとき
- ・ 障害福祉サービス事業所で働き始めてから

4. 障害福祉に興味を持ったきっかけ

問19 障害福祉に興味を持ったきっかけ（F A）

【主な性質ごとの集計：有効回答数：320件】

①時期

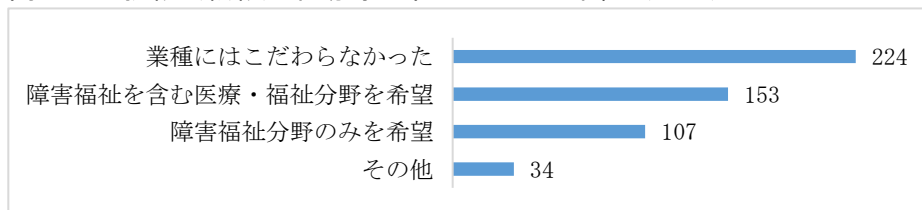
件数	時期
76件	学生するとき
21件	障害福祉分野以外で働いているとき
18件	就職活動中

②きっかけ

件数	きっかけ
96件	自身が障害者又は身近に障害のある方がいる
57件	障害のある方との交流（ボランティア）、障害福祉施設の見学・体験
24件	知人の紹介

5. 就職（転職）活動の考え方

問20 就職（転職）活動時に希望していた業種（SA）



問21 貴職が就職（転職）活動をする際に重視したポイント（SA）

○過重平均値での算出

項目	過重平均値
勤務地	3.16
やりたい仕事ができる	2.99
自分に合った法人・職場の雰囲気	2.71
成長できる・スキルアップできる	2.49
社会に貢献できる	2.49
資格・スキルを活かせる	2.41
理念やビジョンに共感できる	2.41
給与・待遇が良い	2.30
法人や事業の安定性	2.15
福利厚生の実充実	2.14
有給制度・消化率	1.86
研修制度が充実している	1.62
家族（親・親戚等）の意見	1.56
法人規模が大きいこと	1.24
知名度	1.18
先生・キャリアセンター等の意見	0.97
OB・OGや学生時代の先輩の意見	0.72

※算出方法

各項目の回答を以下のとおり点数化し、回答数に掛け、その合計を回答実数で割って求めています。

「重視した」＝4点

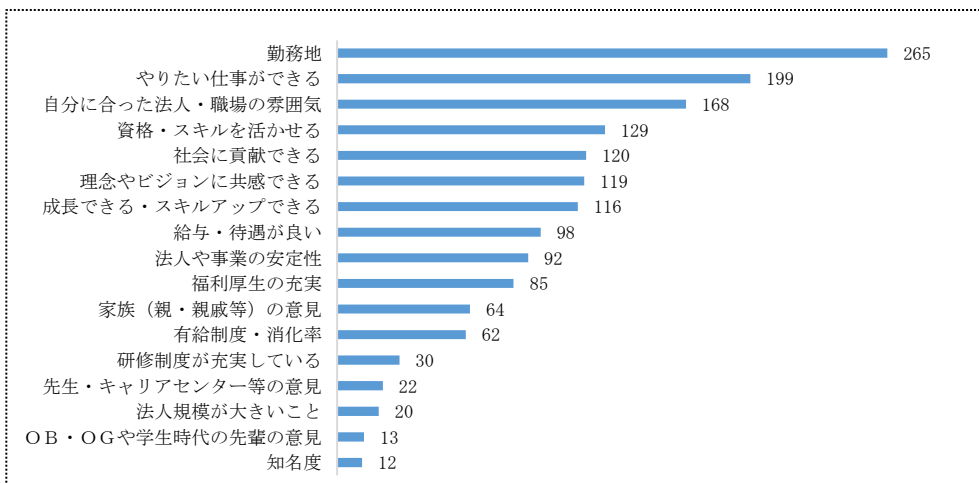
「やや重視した」＝3点

「どちらとも言えない」＝2点

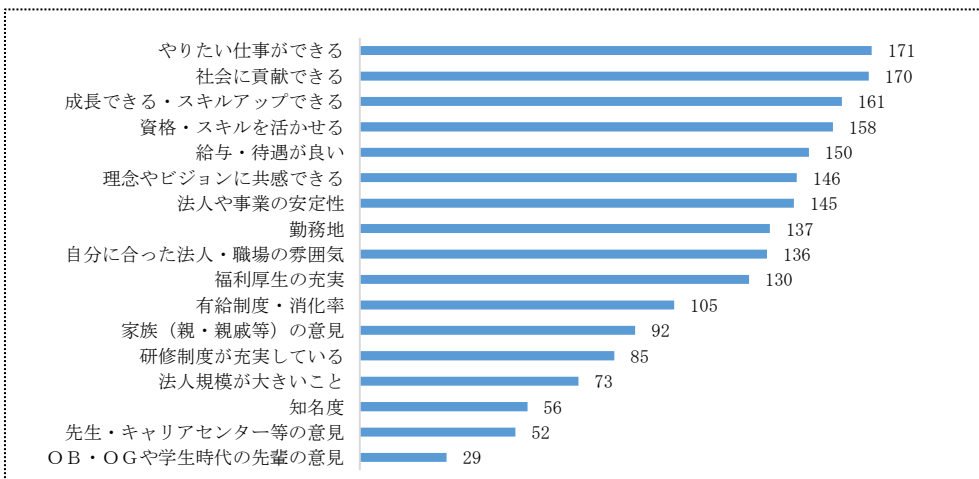
「あまり重視しなかった」＝1点

「重視しなかった」＝0点

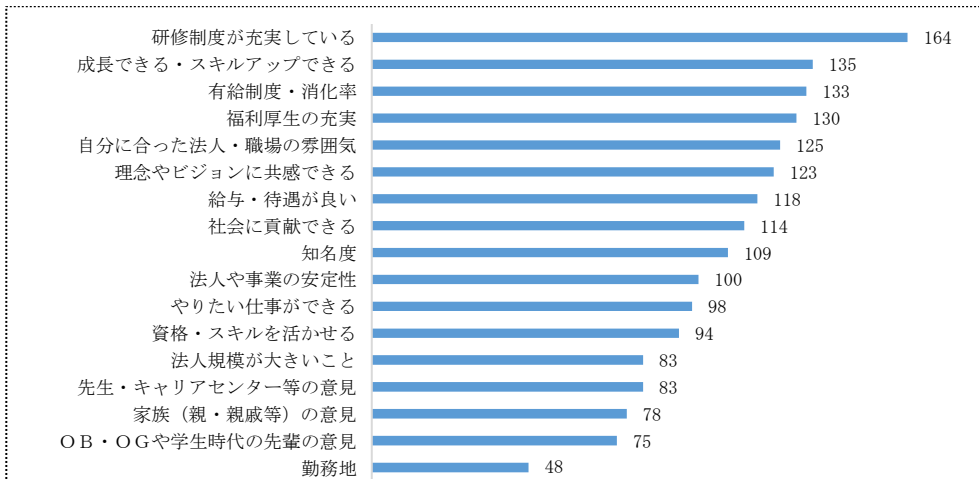
○重視した



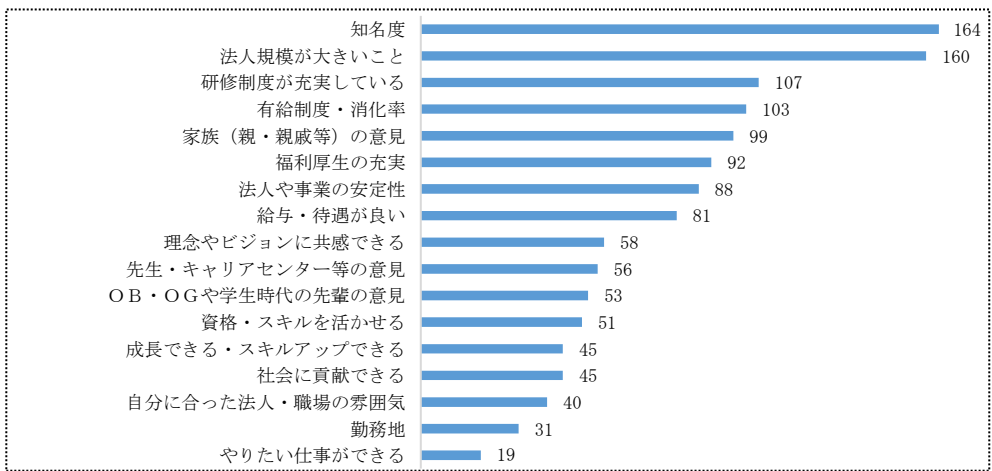
○やや重視した



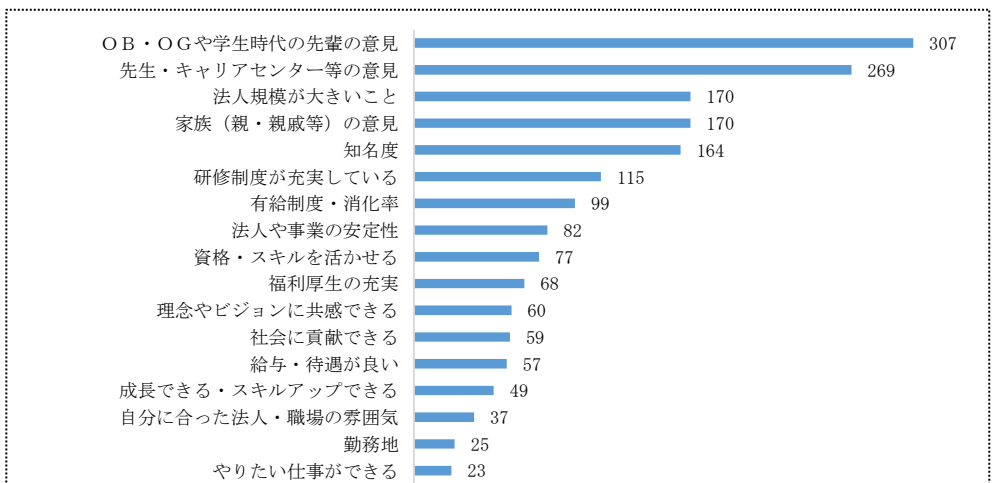
○どちらとも言えない



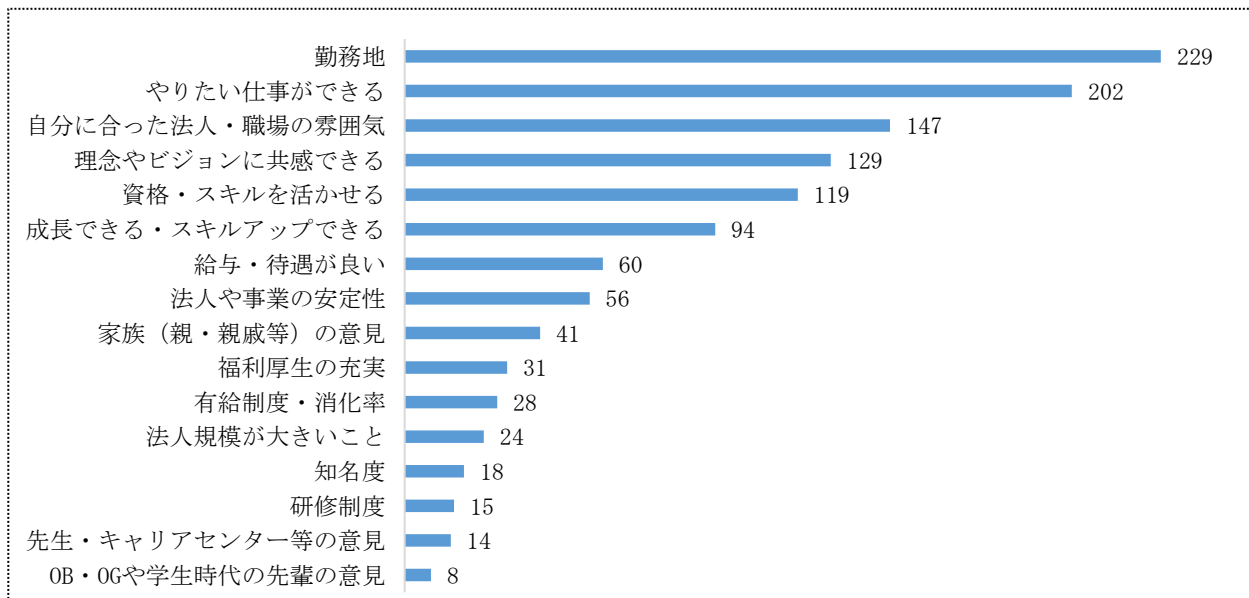
○あまり重視しなかった



○重視しなかった



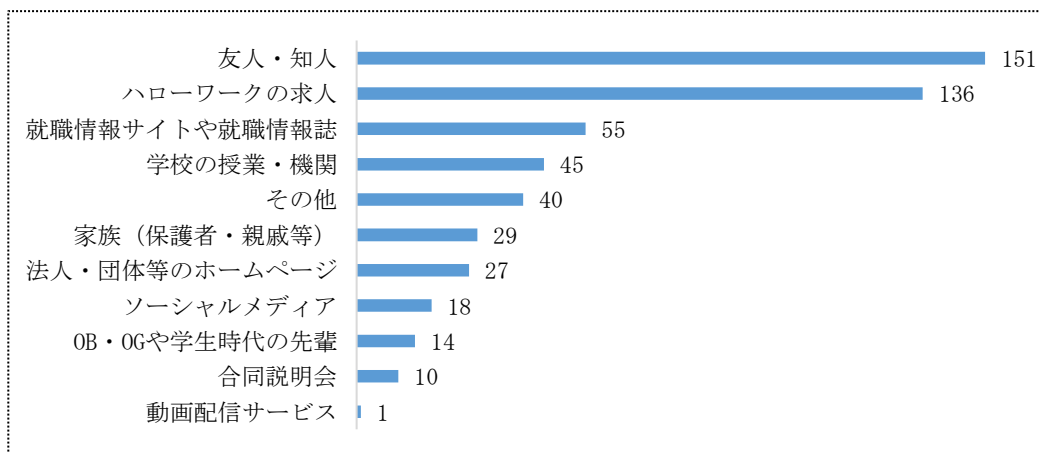
問2 2 現在勤めている法人を選ぶ決め手（MA）



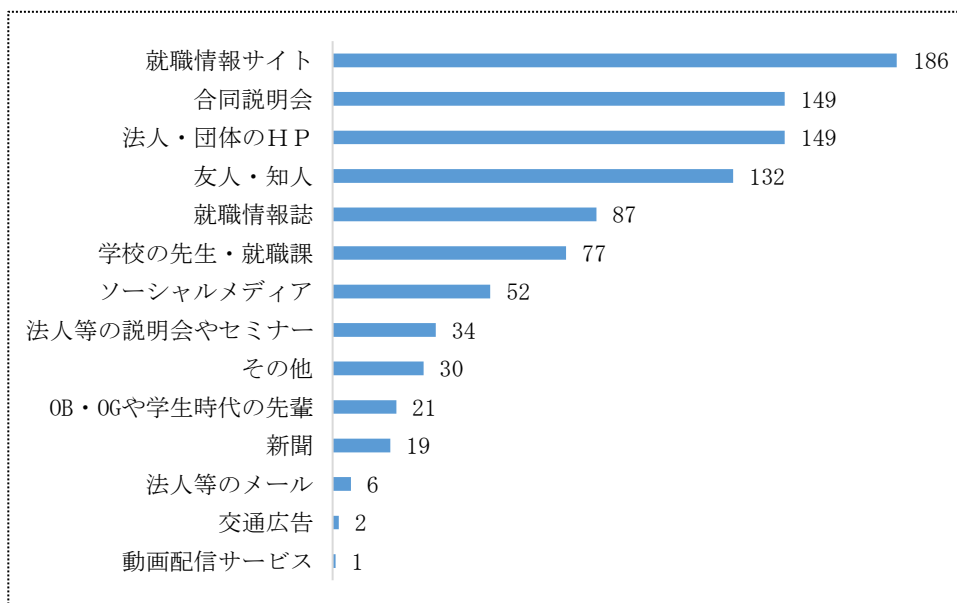
【上記のほかの決め手】

- ・採用、求人のタイミングが良かった
- ・勤務時間帯が希望通りだった

問2 3 現在勤めている法人を知ったきっかけ（SA）



問2 4 就職活動中に参考にしたメディア・媒体（MA）



問2 5 障害福祉分野で働いて感じる率直な感想（FA） ※有効回答数 311 名

○主なポジティブな感想

種別	件数	回答例
やりがい	45 件	<ul style="list-style-type: none"> ・やりがいを感じる ・日々変化を感じ、やりがいがある
楽しい 面白い	28 件	<ul style="list-style-type: none"> ・人生で初めて楽しくやりがいのある仕事に就くことができた ・障害児の成長を間近で見関わっていくことが出来て楽しい
自己成長	14 件	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の成長とともに自分の成長を感じることができる ・何もできないところから始めたが、専門性も身につき、スキルアップできてやりがいを感じる
障害者への 認識の変化	14 件	<ul style="list-style-type: none"> ・思っていたよりも利用者が好意的 ・みんな違ってみんな良いと思える
働きやすい	4 件	<ul style="list-style-type: none"> ・自分に合っている ・働きやすい

○主なネガティブな感想

種別	件数	回答例
給料が安い	66 件	<ul style="list-style-type: none"> ・業務内容と比べて給料が低く、将来に不安がある ・責任は重い給料は低い
負担が大きい 大変	46 件	<ul style="list-style-type: none"> ・対人関係が主であり精神的な負担が大きい ・一人が抱える業務が多岐にわたり、負担が大きい
難しい	23 件	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの障害特性や育歴や癖を考慮して支援することが難しい ・支援の方法を学校、家庭と統一することが難しい
多忙 人出不足	22 件	<ul style="list-style-type: none"> ・人手不足で忙しく周囲の人を気遣う余裕が無い ・超過勤務、休憩時間等無しが当たり前になっている
障害者への 差別	9 件	<ul style="list-style-type: none"> ・移動支援をしていると、周りの目が冷たく感じる ・世間の障害への無理解

○主なその他の意見

種別	件数	回答例
業務内容	29 件	<ul style="list-style-type: none"> ・他業種からの転職だが、行政とのやりとりの多さに驚いた ・書類作成等の事務作業が思っていたよりも多い
専門性が高い	10 件	<ul style="list-style-type: none"> ・高い専門性が必要な仕事 ・専門性のある仕事だと思った。もっと障害について学びたい

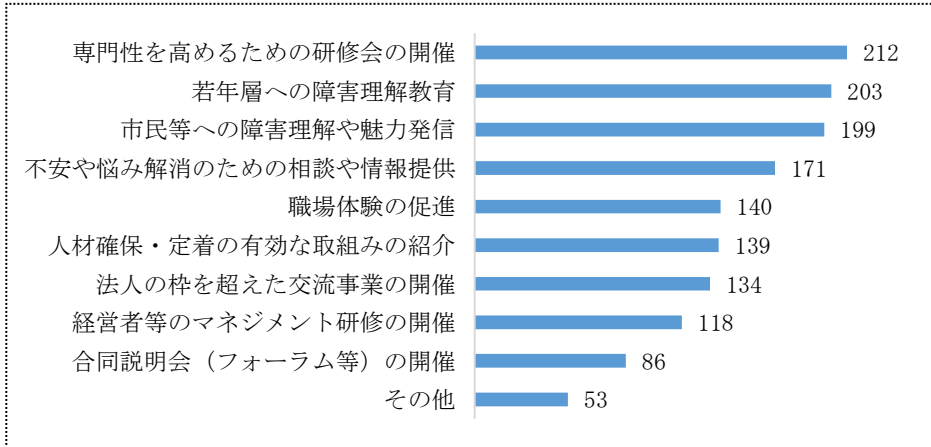
問 2 6 障害福祉分野で働くことの魅力（F A） ※有効回答数 286 件

○主な回答

種別	件数	回答例
利用者・ 利用者の家族	183 件	<ul style="list-style-type: none"> ・人の人生の 1 ページに関わることの尊さを感じることができる仕事 ・事務職では、企業の中のコマに過ぎない気がしていたが、現職では利用者と関わりの中で、共に成長し、交流を深めたてながら、役に立てることに大きなやりがいを感じる。
自身の成長	97 件	<ul style="list-style-type: none"> ・価値観や人生観が広がり、人間的に成長できる。様々な人との出会いがある。対人援助は毎回違ったものがあり常に新鮮。 ・職員、利用者、関係機関の専門職員等から様々な刺激を受け、自分自身が成長していける。生活上の色々な問題解決の方法を考えたりヒントを得たりする力が付いた・・・ように思う。
社会貢献	21 件	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広いプログラムがあり、自由な発想で社会貢献できる。 ・社会貢献の実感がある

6. 行政に期待していること

問27 障害福祉分野の人材確保・定着を図るために行政に期待していること（MA）



【主なその他の回答】

- ・給与面の改善：42件
- ・その他の回答：19件 ※一部給与面の改善との重複含む。一部誤字脱字を修正。

事務担当者など初心者向けの福祉実務研修の実施
経営者への研修もそうだが、各役割に応じた研修や相談制度(管理者なら管理者、サビ管ならサビ管、支援員なら支援員の)
休みやすい環境を整えるための土壌を作ること
有給消化率を上げるよう指導
業務内容、業務量が多く支援者の負担が大きい
サービス残業をやめさせてほしい。労基が入ってもその場しのぎの対応にしかならず、改善されない
役所の方ほか、現場をみてほしい。もっとわかりやすい文書の作成やいつまでも親がかりにならなくてもいいような手続ナド
実際にどのような支援がされているか見に来てほしい
行政の福祉への理解と、法人の活動状況と現状の理解と協力
国や市町村が現場の労働状況や処遇(特に残業について)などを直接確認する。また、現場の人間からの聞き取りなどを行い、必要に応じて、経営者や責任者に改善指導をする
※どうしても閉鎖的になり、他の情報が入りづらく、新しいことに対して嫌がる上司が多いので
障害福祉の暗部も含め、真摯に福祉職と向き合い、地位の向上を図ってほしい
行政の福祉への理解と、法人の活動状況と現状の理解と協力
たまにしか来ない天下りの職員はやめた方がよい
放課後等デイサービスの制度見直しが必要。制度が変わったことで事業所の運営や職員の負担が大きい
スーパービジョンの標準化

障害福祉分野を利用する方々の思い(工賃額、就労内容の充実、職員の支援数を増やす等)を達成できるような支援体制づくりを要望したい。

身体障害者(視覚障害者)の就労に関して、通所時の移動支援に介助者をつける等、在宅の方たちが数多く働ける環境を整えてほしい

ご利用者の権利は当然だが、就労者の保証と、ご利用者に対し、サービス利用に当たっての心得とルールの確立

多様かつ、時には緊急を要するニーズに対応する際の柔軟な対応

障害のある方々への積極的な婚活・性教育・育児の支援